

重点項目	豊かな心の育成 【徳】
重点課題	教師と生徒、生徒同士の信頼関係を構築し、共感的な人間関係を育むために、自治活動の推進に努める。
現 状	昨年度まで、教師と生徒、生徒同士の信頼関係をより高め、学級内において、安心して発言でき、それぞれの発言が認められる集団をつくっていきたいと考え、様々な活動に取り組んできた。しかし、総合質問紙調査の結果を見ると、生徒の自己肯定感の項目の値がかなり低いことが課題とされる。また生徒間に共感的な人間関係が十分に構築されているとは言えないのが現状であるとする。そこで本年度は、生徒会活動だけでなく、学校行事、学級活動を通して、生徒一人一人が様々な活動に意欲的に参加し、その頑張りを認め励ますことで、共感的な人間関係を醸成し生徒の自己有用感を高めたい。
具体目標 数値指標	・総合質問紙調査の結果から、自己肯定感に関する項目の肯定的スコアの割合が90%以上になることを目指す。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・よさや可能性を積極的に見付ける生徒理解に努め、生徒の様子をよく観察し、教員間でどんな些細なことでも共有する。 ・班会議や学年委員会、行事の振り返りシート等を生かした集団づくりを推進する。(各学年によるプロジェクト等の実施) ・生徒の手による自主的、実践的な生徒会活動を推進する。 ・授業や学級活動で、自分の意見を伝えたり、人の意見を聞いたりすることで、多くの気付きや学びを得られるような手立てを工夫する。 ・グループエンカウンター等を通して、よりよい人間関係づくりに努める。 ・道徳の授業を通して、様々な価値観に気付けるような手立てを工夫する。 ・総合質問紙調査の結果（5月／11月実施）を踏まえて、生徒理解のための面談をする。
外部評価者	学校評議員、保護者
公開の方法	学校評議員会、学校だより、ホームページ等